学塾通信 12 月号(第 168 回)

11 月 3 日(火・祝)・23 日（月・祝）は授業実施日です。
11 月 30 日(月)は授業調整日です。通常授業はありません。

嬉しいことに、定期的に卒塾生が教室に顔を出してくれます。もう社会人として頑張っている人も学塾の SNS などを見てくれているようで、とても有難いです。おかげさまで私も 47 歳になりました。
卒塾生といえば、今年はなんと 20 年以上前に指導した生徒との再会がありました。
休日にひとりで北海道フェアに行き地ビールを飲んだ帰り道、エスカレーターでトントンと肩をつつかれました。誰かと思い振り返ると、そこには私が神戸で塾をしていた頃の生徒が満面の笑みで立っていました。当時彼女は高校生だったと思います。私は 20 代半ば、まだまだ駆け出しの頃でした。「覚えていますか？」から始まった会話。当然、一度担当させていただいた生徒のことを忘れるはずはありません。（今も講師陣にびっくりされるほど、記憶力は良いです。）彼女との会話で驚かされたのは、当時の教室のことを鮮明に覚えていることです。担当していた先生の話、一緒に勉強してきた仲間のこと。そして、他の卒塾生の現在を教えてくれました。私にとっては卒塾生達の物語の続きです。
私も若かったため今より経験が浅く、その不足を埋めるために熱意だけで動いていました。深夜 2 時ごろまで家に帰っていない生徒を探して連れて帰り、その後家庭訪問をしたこともあります。（今思えばさすがにやりすぎです。）また、教室に簡易ベッドを持ち込み、泊まり込みで仕事をしていたこともあります。ワークライフバランスとは無縁の 20 代半ばでした。
私の夢のひとつに、「卒塾生のお子様を学塾でお預かりする」ということがあります。再会した彼女は大阪在住だったので、もしかしたら夢が叶う日がくるかもしれないと、ワクワクしています。
さて、高校受験生はいよいよ入試問題を解く時期になってきました。最初から合格点がとれるとは思わないでください。各学校の入試問題を解き、合格点を取るためにはそれ相応の準備が必要です。
今後「入試問題では 100 点を取る必要はない」ということを色々な場所で聞くと思います。それは事実です。合格点をとるために、受験をする学校がどのような出題傾向があるのかを分析し、正答率が高い問題を確実に正解するということを意識してください。それが今年最初の塾長講座でお伝えしたことになります。

合格率を上げる方法
入学試験の制度を知り
出題される問題、傾向を把握し
入試本番で「解くことができる問題」を確実に解く。

受験勉強は簡単ではありません。気持ちで負けそうになるときもあるでしょう。そんなときは、ひとりで抱える必要はありません。応援してくれる保護者様、学校の先生、学塾の講師、そして一緒に頑張る仲間がいます。周りを頼ってください。そして、一歩踏み出す勇気をもらってください。

「14 期生　みんなで力を合わせ、全員合格を達成しよう！」

〇請求書の発行について

2 ヶ月間、紙とアプリで請求書を発行しました。10 月 19 日(月)にアプリ上で請求書の確認ができているかのアンケートを取った結果、10 月 26 日時点でおよそ 9 割の方が確認できているということでした。
この結果を踏まえて、11 月末以降、紙での請求書の発行を終了させていただきます。

〇入試情報等について

各学校から届いた案内や入試に関する情報は、学塾の X にて配信しています。

〇教室への連絡について

遅刻・欠席に関する連絡はアプリから**「塾長送信可」宛に送ってください。**「送信不可」宛に送信すると確認が遅くなります。
メールでご連絡をいただいている方は、アプリからの連絡に変更をお願いします。

〇冬期講習会・入試直前特訓について

この冬も冬期講習会・入試直前特訓を実施します。**申し込み〆切は 11 月 28 日（土）です。**

高校受験生は必須参加です。今年度受験をするみなさんにとって最後の特別講座です。
入試に直結する内容に取り組みますので、この講座で完成させるつもりで臨んでください。

高 2 生、中 2 生、小 5 生（受験）のみなさん、いよいよ受験生と呼ばれる日が近づいてきました。受験に臨むにあたって知っておいて欲しいことがたくさんあります。これからひとつずつ伝えていきます。
受験学年を迎える前の冬休みにやっておきたいことは、これまでに学習してきたことの復習です。
忘れていた知識を思い出し、苦手な単元を克服して受験学年を迎えましょう。

非受験生の冬期講習会の内容を大きく変更しています。この場で少し紹介します。

・冬期個別講習会（1：2 の個別指導）
これまでは 1 日 1 コマ 5 日間連続で受講という形でした。講師陣から「5 回では授業回数が足りない」という声や、保護者様から「習いごとの兼ね合いで毎日通塾ができない」という声があがり、**1 日 2 コマ 3 日間で集中受講**をする形に変更しています。

＊小 1〜小 3 のみ　1 日 1 コマ×3 日間の G-kids 講習会を準備しています。

・ステップアップ講習会（英数　通い放題）

決められた期間であれば何日でも通い放題の講座です。
ただし受講基準があります。

受講基準：

・公立中学 1 年生・2 年生
・2 学期の中間テストで英語・数学が 50 点以上 70 点未満の方

この講座を通して演習量を増やして欲しいです。週 1 回の授業だけでは十分に演習をすることができません。そのため、ミニテストや自習への声かけを行いながら指導をしていますが、これらは生徒自身の意欲に依存する部分が大きく、十分に対応しきれていないのが現状です。そのため、この冬は通い放題のステップアップ講習会を実施することにいたしました。この講習会の目的は、多くの問題を解いて演習を重ね、基本的な問題を速く正確に解けるようになることです。

実施日：12 月 22 日(火)～29 日(火)の 19：10～20：25、20：35～21：50
上記の日程から通塾日を決めていただきます。（最大 12 コマ）通塾日の登録はアプリから行っていただきます。

〇年賀状について

毎年お正月に講師の集合写真とメッセージを添えて年賀状を出していました。これはお正月にご家族が集まる中で、普段指導させていただいている講師陣を見ていただくことを意図してのものでした。
時代の流れもあり当塾は今年度から、年賀状の送付を終了することにしました。ご了承ください。



☆小学生☆

〇中学生のお約束について

新中学 1 年生のみなさん
公立中学に進学するみなさんに、中学生のお約束をアプリのお知らせで送ります。**内容を確認してアンケートにお答えください。（後日配信予定）**
これは小学部から中学部に進学するにあたり、確認して欲しい教室からのお願いです。
中学校生活に慣れ、充実した 3 年間になるように一緒に頑張りましょう。これまでの指導経験を基にお約束を作っています。
保護者のみなさま、お子様にも約束の共有をお願いいたします。

中学校の 3 年間は長いようであっという間に過ぎていきます。
いろいろなことに興味を持ったり、親の言うことを聞かなくなってきたりという時期もあるかと思いますが、それは決して特別なことではありません。成長過程のひとつです。

また、中学入学を前にスマホ使用のルールを各ご家庭で再確認することをお勧めします。
制限をかけるべきところは制限をかけ、勉強をするときや就寝時にはスマホを近くに置かない、など保護者のみなさまから念を押していただきたいです。

子どもたちが興味を持つようにつくられているコンテンツを見始めると、それに費やす時間が多くなってしまいます。

① スマホを机の上に置いたまま学習をさせない。
➡近くにあるとどうしても気になり、見たくなってしまい集中の妨げになります。



② スマホを子どもの寝室に置かず、就寝時には別室にある状態にする。
➡布団に入りながらスマホを触る癖がつくと、寝る時間が遅くなるだけでなく、睡眠の質が下がります。

時間とルールを決めて使用し、スマホとの上手な付き合い方ができるようにしていきたいものです。繰り返しになりますが、お子様に中学入学を前に必ず家庭のルールを決めることをお勧めします。

〇中学準備ついて

中学生になると、小学生のころからは想像がつかないほど忙しくなります。部活動、学校行事、定期テストの勉強など、時間に追われる生活になります。
だからこそ、小学生の間にできる先取りをしておくことが中学入学後の好スタートにつながります。
2027 年以降、中学校の先取り学習をひとつずつ進めていただけるようなイベントを考えています。
次回の学塾通信で内容をお伝えします。

☆中学受験生☆

〇模試について（小学 6 年生・5 年生）

第 6 回　五ツ木模試　11 月 22 日（日）

☆中学生☆

〇中学 1 年生（16 期生）

2 学期の中間テストの結果を集計しました。
通常授業で、英語を受講していない人の英語の点数が厳しい状況になっています。
三人称単数の S を学んだことと代名詞を新たに学んだことで使える知識が増えたため、問題を見てどの文法事項が該当するのかを選択できていないこと。そして、基本的な単語を書けていないことが課題と感じています。
いつから英語の授業をスタートさせるかはご家庭でも話をされていると思いますが、後になればなるほど週 1 回の授業では補うことができなくなります。
ただ、生徒たちにとって悔しかったのは、一部テスト範囲外の内容が出題されていたことです。代名詞の単元はテスト範囲表に入っていませんでした。授業で少し扱ったことは把握していましたが、範囲外だったため私たちも対策が手薄になってしまったことが悔やまれます。(もしかすると学校のワークや配布プリントのどこかに代名詞は掲載されていたのかもしれません。)

一番気をつけないといけなかった 2 学期中間テスト。平均点も下がっていますが、5 教科の合計点が下がった人も多かったです。繰り返しこの場でお伝えしてきたことの意味をご理解いただけたと思います。

この学年は、コロナの影響で保育園や幼稚園の卒園式は延期になり行動制限もありました。また、小学校の入学式は半年遅れでの実施となり、給食はマスクをして前をむいての黙食でした。そのことが影響しているかわかりませんが、自分に自信を持てない人や精神的に繊細な人が多いように感じています。
一人ひとりは良いものを持っています。まだ、1 年生の 2 学期の中間テストが終わったばかりです。
大変だな、しんどいなと思うことにもドンドン挑戦して欲しいと思います。挑戦することで見えてくることがあります。
「テスト前学習会は、長時間の学習のため参加することが嫌だ。」「早朝学習会は朝が早いので行きたくない。」そのような声を聞くこともありますが、自分ひとりではできないけれど一緒に頑張るみんながいるからテスト勉強を頑張れたということもあります。勇気を出して一歩踏み出しましょう。

〇中学 2 年生（15 期生）

受験する学校はいつ決めるのか知っていますか？3 年生の 11 月にある三者懇談のときです。つまり、1 年後には提出した進路希望調査を基に学校の先生と受験校について話し合いをします。来春 4 月になってから動き始めようとすると半年しか時間はありません。少しずつでも動き出しましょう。
今学習している内容については理解不十分な単元をつくらないことです。これまで学習してきた内容を思い出すことから始めてみましょう。定期テストで平均点以上を取れている人は、新中学問題集を最初から解きなおしていきましょう。学校で習っていないような応用問題も模擬試験や実力テストでは出題されます。平均点を取れていない人は、フォレスタをもう一度解きましょう。受験勉強を始めるのに早すぎるということはありません。

○同意書について

次年度からの指導について、**同意書をアプリのお知らせにて送ります。**
内容をご確認いただき、アンケートにお答えください。（後日配信予定）

学塾では、高校進学以降に繋がる受験をしてもらいたいと考えています。
そのため、**推薦で高校から内定が出たからといって勉強をしなくても良いという指導はしません。高校進学以降のために一般受験で合格できるような学力をつけるよう指導します。**

当然、受験に関する各種講座も部活動等での推薦をいただいた方にも受講していただくことになります。
同意書にも同様のことを書いています。必ずご確認ください。

☆中学 3 年生☆（14 期生）

○中 3　塾長講座について

第 7 回　11 月 28 日（土）13：30～19：00

12 月以降は入試直前特訓に移行するため、塾長講座はこれが最終回となります。

○模擬テストについて

第 7 回　　五ツ木模試　12 月 13 日（日）　必須回です。

＊1 月は希望者だけの実施です。

12 月の特別会は、希望する私学で受験をすることができます。
私学の受験校で実際のイメージを持って臨んでください。時計の有無・空調・お手洗い・会場までの時間・ルートもチェックしておきましょう。

○入試直前特訓について

入試直前特訓は 12 月 19 日(土)が初日です。12 時 30 分開始です。

冬以降の特別講座は入試直前特訓・推薦入試対策・英作文対策講座・C 問題対策と 4 つの講座を準備しています。このなかで優先順位が一番高いのは入試直前特訓です。英作文対策講座・C 問題対策は強化したい単元をピンポイントに指導するので、C 問題出題校を受験する人には受講していただくことをお勧めします。学習状況を見てこちらからも提案します。
不明な点がございましたら、教室までご連絡ください。

〇保護者様からの質問

「入試直前特訓のコース変更はできますか？」という質問を毎年受けます。例えば、公立の一般選抜を考えていたが、学校の懇談で私立専願になったため、直前特訓を公立の一般選抜ではなく私立にコース変更できるかということです。
➡コース変更できます。進路の状況に合わせて対応しますのでご安心ください。

〇進路面談について

11 月・12 月の学校での面談を経て、改めて塾でのご相談を希望される場合は、随時実施します。（案内文等は配布しません。）希望される方は教室までご連絡をお願いします。

〇受験終了後について

年明けに高校入試以降の継続についてのアンケートを取らせていただきます。
目的は新年度からの新入塾生の募集定員を把握することです。

高校受験後に学塾を卒業する方は、3 月 3 週が最終授業になる予定です。
新年度カレンダーができ次第日程が確定します。

☆高校生☆

高校生は全員が小学生・中学生から学塾での学びを続けてくれている人です。その継続は本当に力になります。
ただ「自分で限界を決めてしまっている」ように見えることもあります。バイトや部活が優先になり、気がつけば学業がおろそかになっている。そんなことはないでしょうか。
進路は「どこに行くか」でなく「自分がどうなりたいか」を考える時間です。
今の選択が数年後の自分をつくります。思い当たる節がある人は、一度立ち止まって見てください。
そのために担当の先生がいます。一緒に考えながら、より良い進路を考えていきましょう。
高校時代に一生懸命に頑張ってきたことは、一生の財産になります。
さすが高校生だと思えるような取り組みを期待しています。

2026 年度　塾生募集状況

【高校生】募集終了
【高校受験　中 3】募集終了
【高校受験　中 2】募集終了（キャンセル待ち 2 名）
【高校受験　中 1】募集終了
【中学受験　小 6】募集終了
【中学受験　小 5】募集終了
【非受験　小学生】募集終了